

YAMANASHI

発行/山梨県PTA協議会 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目9-10 TEL.055-228-1342

発行人/会長 梶 謙一 編集/山梨県PTA協議会情報委員会 印刷/総合印刷 王文社

～ 新年度を迎えて～



山梨県PTA協議会

会長 梶 謙一

PTA会員の皆さん、こんにちは。3年間にわたって山梨県PTA協議会をまとめていただいた天野前会長より引き継ぎ、平成22年度の会長を務めることとなりました梶です。どうぞよろしくお願いいたします。

山梨県PTA協議会は県内の公立小・中学校の保護者と教職員約7万3千人により構成されています。各学校単位のPTA活動に比べるとすぐ目に見える結果が伴いにくいですが、こうした情報誌やホームページを通じてPTAの情報や活動を発信したり、広域的・公益的な組織として、行政や教育機関への要望・提言等を行いながら、子供たちの教育環境の向上に努めています。

今年度山梨県PTA協議会では「願はひとつ すこやかな成長 つながろう 両手ひろげて」をスローガンにかかげました。

日本には古くから倫理観、道徳律ともいべき約束ごとが存在していました。「白虎隊」で知られる会津藩には藩士の心得を子供のうちから教えるための「什の掟」がありました。武士としての自覚と責任を養うための約束ごとの最後は「ならぬことはならぬものです」で結ばれています。

また、江戸商人の間にはのちに「江戸しぐさ」と呼ばれる行動規範がありました。あとから来る人も座れるようにとこぶし一つ分腰を浮かせて席を譲り合う「こぶし腰浮かせ」や、傘をさしてすれ違う時、互いにぬれないよう傘は外側へ傾ける「傘かしげ」などです。日常の立ち振る舞いの中のちょっとした思いやりに粋や美学を見出していました。そして相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら人間関係を円滑にしていたのです。

昨今、子供たちにかかわる様々な問題が取りざたされています。

中でも道徳心や規範意識の低下といった家庭教育にかかわる問題が大きく指摘されます。一方、家庭を取り巻く環境も単身赴任や夜勤、3交代制などによる不規則な勤務時間、核家族やひとり親家庭、お年寄りの介護等々、実に様々な状況です。急激な社会の変化や価値観の多様化により“あたりまえ”という標準は今やボーダレスと化しています。ましてや不況の今、親をはじめ大人も多くの悩みや不安を抱えており、とても穏やかではいられない家庭もあるでしょう。何が正しくて何が間違っているかなど一概には決められない時代だからこそ、私たちPTAも親として大人としての自覚や責任ある子育てがますます強く求められています。

家庭教育が全ての教育の原点であり、社会生活の基礎を培う場であることは言うまでもありません。それぞれの家庭ごとの家族の結びつきの中で一生懸命誠実に生きる姿や、前向きに、時には人生を楽しむ大人の姿を子供たちはちゃんと見ています。また、かつての会津藩士や江戸商人のように、地域の中で誰かに言われてするのではなく、自然と思いやりの行動をしたり「駄目なものはダメ」と毅然とするたのもしい大人の姿は大人の見本として子供たちの目に映る事でしょう。

日々の生活の中では「もうちょっと こうなってくれば…。」と、自分の子供に思うことはそれぞれいろいろありますが、同じ時代に同じ年代の子供に関わることで知り合えた私たちPTA会員皆の共通の願いは「全ての子供のすこやかな成長」につきると思います。家庭環境や地域での教育環境はそれぞれ違えども、PTA活動を通じてお互い高めあい成長し合い、つながりを深めることで子供たちの成長をあたたくそして力強く見守っていきましょう。

一年間よろしくお願いいたします。

第36回母親研修会・子育て講演会

主催：山梨県PTA協議会
 主管：母親委員会
 共催：山梨県精神保健協会

テーマ 『願いはひとつ すこやかな成長』
 ～ つながろう 両手ひろげて～

全体会(子育て講演会) 12:40(受付12:10～)

演題 「命の授業」

～今の幸せに気づくことから夢はひろがる～

講師 腰塚勇人(こしづかはやと)先生

元体育教師、養護教員 スキーで大事故をきっかけに、全身麻痺の体に。その後懸命のリハビリにより社会復帰できるまでに回復し、事故をきっかけに人生も人生観も大きく変化し、講演を通じて命の大切さを訴えている。

■ 平成22年10月30日(土) 12:40～16:40
 ■ かいてらす(甲府市東光寺) (受付12:10～)

分散会(母親研修会) 14:30～16:40

全体会の講演を聞き、その内容をテーマに3分散会に分かれて話し合いを行います。

「みんなが語り、みんなが創る。」

参加者全員が語り合える会にしたいと思います。

母親の皆様、もちろん父親の方もふるってご参加下さい。

平成22年6月5日(土) 東京エレクトロン 韮崎市文化ホール

山梨県教育委員長 須田 清様をはじめ、多数の来賓を迎え定期総会が開催されました。天野会長より、まず成功裏に終了した昨年度の関ブロ山梨大会の報告に併せ、感謝の挨拶があり、事業報告と決算報告が承認されました。梶新会長より22年度スローガンと活動方針、事業計画、新役員の報告があり、承認されました。

県P定期総会を開催

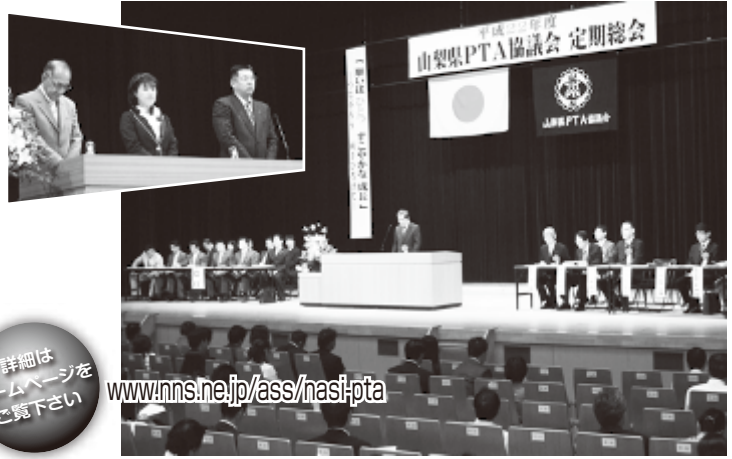
22年度スローガン

「願いはひとつ すこやかな成長」
— つながろう 両手ひろげて —

- 1 子どもの健やかな成長を願い、親や家庭の果たすべき役割を支えるPTA活動を推進する。
2 学校・家庭・地域社会の連携を深め、各単位PTAを支援する運動を推進する。
3 日本PTA・関ブロ・県・都市・単位PTAと連携を緊密にしたPTA活動を推進する。
4 会員相互の結びつきを強め、新しい時代に即応できるPTA活動を推進する。
5 子どもたちに思いやりやりの心と、共に生きる力を育むためのPTA活動を推進する。
6 子どもたちが国際交流や環境問題を意識・自覚できるPTA活動を推進する。
7 心豊かな青少年の育成を目指した教育諸団体と連携し、教育条件整備を推進する。

事業計画

- 1.山梨県PTA協議会の運営(総会・理事会・諸会議及び委員会)
2.教育相談・調査研究・情報収集提供・政策提言事業
3.社会教育・家庭教育に関する教育研修及びイベント普及事業
4.社会教育(PTA活動)に関する表彰事業
5.家庭・学校・地域教育・安全教育に関する広報・安全啓発事業
6.教育・行政・日本PTA等関係機関との連携事業



詳細はホームページをご覧ください

www.nns.ne.jp/ass/nasi-pta

平成22年度県P理事役員

Table listing board members including 顧問, 会長, 副会長, 常任理事, 監事, and 郡市事務局長 with their names and affiliations.

常置委員長よりひと言. 丸山 俊文(松里中P) and 中込 美奈(北東中P) statements.

総務委員長 長谷川一孝(小笠原小P) and 情報委員長 植村 武彦(甲運小P) profiles.



三行詩推薦作品. 小学校の部, 中学校の部, 教職員部の詩句募集結果.

三行詩

高根北小「もみじ」リベンジの最優秀賞に輝く!! 山梨県PTA協議会新聞コンクール

県内から集められたPTA広報紙の中から、昨年優秀賞を受賞した「もみじ」が今年みごとに最優秀賞に選ばれ、山梨県PTA協議会新聞コンクールの表彰式が定期総会の席上で行われました。

受賞作品は下記の通りです。(第32回 全国小・中学校PTA広報紙コンクールへ応募)

最優秀	北杜市 高根北小学校	「もみじ」
優秀	甲府市 山梨大学教育人間科学部附属中学校PTA	「桐の実」
優秀	北杜市 高根清里小学校PTA	「きよさと」
優秀	都留市 谷村第一小学校PTA	「大杉」
優秀	身延町 久那土小学校PTA	「さんかく山」
優秀	甲府市 南中学校PTA	「みなみ風」
奨励	北杜市 高根中学校PTA	「たかね」
奨励	北杜市 小淵沢小学校PTA	「つくし」
奨励	笛吹市 芦川小中学校PTA	「あしがわ」
奨励	笛吹市 一宮南小学校PTA	「櫻のびびき」
奨励	甲府市 山梨大学教育人間科学部附属小学校PTA	「きりのは」
奨励	甲府市 朝日小学校PTA	「あさひタイムス」
奨励	甲府市 甲府市小中学校PTA連合会	「甲府市P連だより」



「もみじ」は洗練されたレイアウトや見出しが目を引くとともに、写真の質や活かし方も秀逸。(審査委員長 山梨新聞社 読者センター 中村 誠 評)

第58回 日本PTA全国研究大会 ちば大会 8月27日(金)~28日(土)

「皆さんが熱いんです」(by修造さん)

県P副会長 笠井辰生 (六郷小P)

今年の日本PTA全国研究大会は、千葉県PTAの主管で関東ブロック研究大会との同日開催となり、山梨からは例年を上回る70余名が熱き「ちば大会」に参加しました。

初日は各地で分科会。第一分科会ではK-1プロデューサーの角田信朗氏が基調講演。家族のエピソードや父親トークに会場が沸きます。続くパネルディスカッションでは会場にマイクが渡ったとたんにでるわでるわ各県の事例紹介。これぞ全国大会、来てよかったというお母さんの最後の一言が心に残りました。

翌日は潮風香る幕張メッセで全体会。式典の祝辞には森田健作知事「私たちが子どもに口うるさく言うほど、私たち自身はどうだったでしょう?子どもの頃の気持ちを思い出してみても」、弱冠32歳の熊谷千葉市長「子どもたちの意見も市政に反映。まちづくりの主演として、自ら行動する市民に育てほしい」とリーダーも情熱家揃いです。

そして松岡修造氏が記念講演に登場。ステージ狭くと歩き回り、観客席にも降りて身振り手振り、ラケット片手に汗だくのスピーチ。

- ◎頑張る術を身につけている人には「がんばれ」が良いが、子どもたちにはがんばり方から教えて気づきと自信を。それが応援。
 - ◎「無理い」「できない」は禁句。なんでも「微妙う」ですませるな。「本当の気持ち」を聞いかけろ。
 - ◎自主性を育てるためには環境が大事。自ら行動せざるを得ない環境に放り込め。
 - ◎個性は基本ができてこそ。そしてとことん反復練習。
 - ◎うまくいかないとき、「なぜ(why)」と言い訳を探すより、「どうしたら(how)」と方法を考えろ。目標を常にイメージ。
 - ◎ミスをしたときこそガッツポーズ。失敗したと悔むな、次の成功へのチャンスと思え。
 - ◎疲れるのは中途半端だから。常に一所懸命なら気持ちは疲れぬ。一方で、のほほ〜んと軽く流すことも必要。
 - ◎家族には仕事のように冷静になれない。いつも心の中で「ありがとう」とつぶやいて、優しい言葉を口にしたい。大切なのはコミュニケーション。
- 等等、つらいケガからの復帰や世界の強豪と渡り合った経験、修造塾での子どもたちとの体験をもとにしたメッセージはやはり熱血でした。

今大会で得た経験・知識は、参加された皆さんの各単Pにきっと活かされることでしょう。来年のブロック大会は長野、全国大会は広島です。大会の熱気はとてん伝えきれません。ここまでお読み頂いた皆様にはぜひ一度参加されることをお勧めします。

ちば大会が開催されました (兼 関東ブロック研究大会)



大会旗の引き継ぎ式。来年の関東ブロック大会は長野で開催。

第四分科会で研究発表をする天野前会長



関東ブロック大会で表彰を受けた天野前会長と佐野前母親代表



親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会

会長 天野 一

親子安全会は、昭和46年8月に北九州市で開催された日本PTA全国研究大会で「親子安全会という相互扶助の見舞金制度を実施したらどうか」との提案があり、「各都道府県が自主的に実施する」ことを決議しました。

山梨県でも昭和50年4月1日互助の共済制度方式を採用し、県内13万人の会員が子どもたちの健やかな成長を願い、会員相互の助け合い精神の下にPTA親子安全会が発足されました。

あれから35年、子どもたちを取り巻く環境は年々変化してまいります。親の子どもに対する愛情は、いつの時代も変わらない普遍的なものであります。

そして、私たちの親子安全会も設立当初の主旨と目的を尊重しながら、時代と共に変化を続け、更によりよい組織へと変貌を遂げております。

願いは一つ「子どもたちの笑顔」。いつでも、どこでも、子どもたちが笑顔になれる社会を作っていかななくてはならないと考えております。

今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

6月の定期総会で「見舞金給付規程」の一部が下記のように変更になりました

事由	見舞金区分		見舞金額	
死亡見舞金	児童・生徒	日本スポーツ振興センター適用外	10万円	
	保護者・教職員	疾病・傷害を問わず、いかなる場合も対象となります。	10万円	
傷害見舞金 <small>【(整)接骨院での治療は5割給付】</small>	児童・生徒	日本スポーツ振興センター適用外	入院	1,500円/1日
			通院	1,000円/1回
	保護者	1.PTA活動中 2.児童・生徒を対象とした社会的行事参加中	入院	3,000円/1日
			通院	1,500円/1回
	教職員	1.PTA活動中 2.児童・生徒を対象とした社会的行事参加中 3.教職員勤務中	入院	3,000円/1日
			通院	1,500円/1回
後遺障害見舞金	児童・生徒・保護者・教職員	後遺障害見舞金支払区分によって査定された金額で、入・通院傷害見舞金と合算して10万円以内		

骨折(離開)については病医院で医師の治療を受けた時に限り、通院期間から治療回数を差し引いた日数の12分の1を治療回数として加算する。

* 下線部分が変更になりました。23年4月1日以降の発生事故に適用。詳しくは県P事務局へお電話ください。

教育相談事業 教育四者(PTA・校長会・教頭会・教育会)による教育相談室

山梨県PTA協議会、校長会、教頭会、教育会の教育四団体は、教育相談室を開設しています。相談員は学校現場を退職した教員のOBで、教育現場で最も活躍し、児童生徒とのふれあいも多かった先生方です。また、長年相談活動を手がけており、県教育委員会から教育相談員として任命もされています。子育てなどに関わる悩み事、心配事がありましたら気軽にご活用ください。

相談会場等案内

相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第1・3水	丸山 森人
	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	第1・3月	渡辺 明文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡鯉沢町795-4	0556-22-1500	第1・3水	土橋 士郎
	中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	毎週水曜	横小路 充子
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・3月	上野 幸治
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時	三浦親太郎
	北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	随時	橋本 幸子
全県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-9-10	055-228-1342	随時	小田切道之 早川 憲三

編集後記

うだるような「スーパー残暑」もようやくおさまり、遅い秋が訪れました。スポーツの秋・芸術の秋を子ども達とともに存分に楽しんでいただきたいと思っております。さて、今号では定期総会や新聞コンクール表彰などの従来からの記事に加え、初めて三行詩コンクールの県推薦作品を掲載しましたが、

いかがだったでしょうか。また、この秋には県PTA協議会の活動内容などを随時紹介するためのホームページリニューアルを予定しています。これからもより充実した広報ができるよう努めていきたいと思っております。

情報委員長 植村 武彦